

- 10月3日以降の各国・地域の対米ドルの動きは、カナダや欧州の通貨が低調な一方、新興国通貨の堅調さが目立つ。株価指数は先進国の下落の大きさが際立つ一方、新興国の一角はプラスも。
- 世界経済成長減速の見方が市場の足かせとされるが、新興国市場をみる限り、必ずしも的を得ているとはいえ、資産配分調整の動きが落ち着けば投資家の不安心理は後退に向かうと予想される。

## 新興国通貨はメキシコペソを除き総じて堅調

10月3日にダウ・ジョーンズ工業株価平均（NYダウ）が過去最高値を更新して以降、米国を始めとする先進国を中心に市場が揺れ動いています。通貨や株式のパフォーマンスはこの日以降、足もとでどのようなものとなっているのでしょうか。

まず、各国・地域の通貨ですが、資源国にもみなされるカナダや政治問題に直面する英国・ユーロ圏など先進国が総じて低調といえます。

一方、トルコを始めインドネシアや南アフリカなど、メキシコを除いた新興国の堅調さが目立ちます。これらの国の通貨は今年5月から9月の間に急落する場面がありましたが、米金利や米ドルの上昇一服もあり、落ち着きがみられます。また、メキシコペソは、ロペスオブラドール次期大統領が新空港建設計画を中止すると発表したことなどから投資家の不安が高まったとみられ、10月後半に急落しましたが、11月半ば以降の下落は限定的なものにとどまっています。

## 先進国株は低調も、新興国株の一角は堅調

次に、株価指数ですが、米中貿易摩擦激化の懸念などを背景とした投資家の不安の高まりから株価の変動性（ボラティリティ）が上昇し、米国を始めドイツや日本など先進国の下落の大きさが際立っています。

一方、インドネシアやブラジルなど、新興国の一角はプラスとなっており、先進国と比較して堅調といえます。上海総合指数は、景気の先行きや米中貿易摩擦激化への懸念から10月前半に大幅に下落しましたが、日米株式市場が上下に大きく振られる波乱の展開となった11月以降は、一進一退ながら比較的小動きにとどまっています。

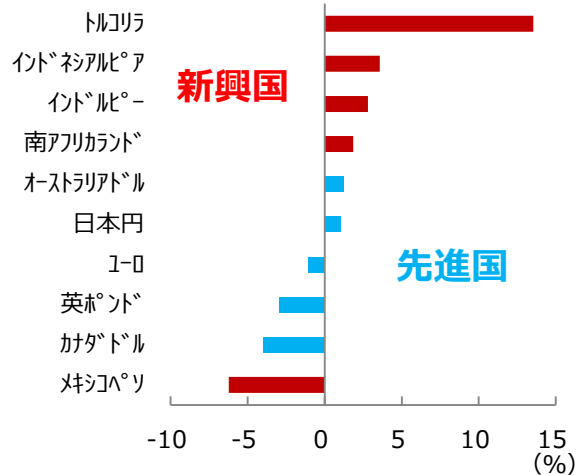
世界的に経済成長が先行き減速するとの見方の高まりを市場の足かせとして挙げる論調が多くみられますが、足もとの新興国通貨や株式のパフォーマンスをみる限り、必ずしも的を得ているとはいえない可能性があります。

こうしたことを考慮すれば、足もとの市場は、株式や債券などの偏り過ぎた資産配分を調整する動きが影響していると捉えることも可能であり、資産配分調整の動きが落ち着けば投資家の不安心理は後退に向かうものと予想されます。

※上記は過去の情報および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

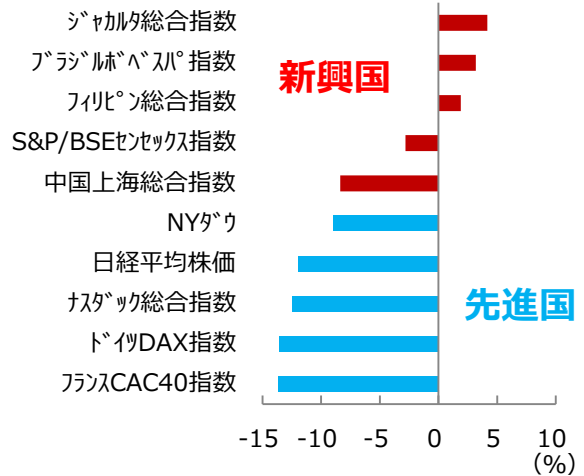
※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。

## 各国・地域の通貨 騰落率



※期間：2018年10月3日～2018年12月10日（日次）ブルームバーグ算出のランキングから任意で抽出  
騰落率は対米ドル

## 主要株価指数 騰落率



※期間：2018年10月3日～2018年12月10日（日次）ブルームバーグ算出のランキングから任意で抽出  
騰落率は現地通貨ベース

出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

# 投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

## 【投資信託に係るリスクと費用】

### ● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（REIT）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

### ● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

#### ■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

#### ■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

#### ■ その他費用・手数料

上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

## 【ご注意事項】

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
- 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、
  1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。
  2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
  3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

## 【指数の著作権等】

- ブラジル ボベスパ指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はサンパウロ証券取引所（BM&FBovespa）に帰属します。
- ジャカルタ総合指数に関するすべての権利は、インドネシア証券取引所が所有しています。
- フィリピン総合指数はフィリピン証券取引所（以下「PSE」といいます。）の算出する指数で、著作権等のあらゆる権利はPSEに帰属します。
- イスタンブール ナショナル100種指数はイスタンブール証券取引所が公表する指数です。イスタンブール証券取引所は、本指数の正確性、完全性について、明示的、黙示的を問わず保証するものではありません。
- ダウ・ジョーンズ工業株価平均は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCまたはその関連会社の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLC、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズLLCまたはその関連会社は、いかなる指数の資産クラスまたは市場セクターを正確に代表する能力に関して、明示または黙示を問わずいかなる表明または保証もしません。また、S&P500種指数およびダウ・ジョーンズ工業株価平均のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。
- 「日経平均株価」は、株式会社日本経済新聞社によって独自に開発された手法によって、算出される著作物であり、株式会社日本経済新聞社は、「日経平均株価」自体および「日経平均株価」を算定する手法に対して、著作権その他一切の知的財産権を有しています。
- ナスダック総合指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はNasdaq Stock Market, Inc.に帰属します。
- ドイツDAX指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はDeutsche Börseに帰属します。
- フランスCAC40指数はユーロネクスト・パリが算出している指数で、著作権等の知的財産その他一切の権利はユーロネクストに帰属します。
- 上海総合指数は上海証券取引所が公表する指数です。